



栗山



学校だより
学校運営協議会だより

校訓：誠実・自律・調和

令和8年4月14日

第1号

八王子市立浅川中学校



新たなスタートに当たって

～校訓『誠実』・『自律』・『調和』の大切さ～

八王子市立浅川中学校
校長 大熊 一正

この4月に、浅川中学校の校長として着任した大熊です。本校は、浅川地区（旧浅川町）最初の中学校として開校して以来、79年目となる歴史をもっています。その浅川中学校に着任することになり、大変感慨深いものがあります。

さて、浅川中学校には、校訓があります。平成29年に制定とありますから、まだ8年余りではありますが、この校訓はなかなか意義深いものです。そもそも校訓とは、学校の目指す「頂き」であり、今までの学校の歴史の中で、大事にしてきたことを端的に掲げたのが校訓です。これから先、100年、150年と学校が続いていく中で、この校訓は変わらず受け継がれていくべきものであり、長い歴史の中で築かれてきた3つの言葉をずっと大事にしていくものです。

その校訓の最初に『誠実』があります。誠実とは、嘘をつかないこと、ルールやマナーを守ることといった基本的なことから、自分がやろうとしたことに対して真摯に向き合う、何事にも手を抜かず精一杯取り組むといった、高みを目指していく姿勢も含まれています。この言葉が、校訓の最初にあるということは、私たちが一番大切にしていることだといえます。

次が『自律』です。これは、最初の全校集会でも話があった「自己指導能力」とほぼ同じ意味です。自分を律するというのは、自分が決めたことを守ることだけでなく、周りに流されず自分の意志で物事を決め、行動していく。そのために必要な知性や判断力を磨き、言われたからやるのではなく、また一時の感情に左右されるのではなく、目標に向かって自分をコントロールしていくことです。今の時代最も必要とされる力かもしれません。

最後に『調和』です。この言葉にもたくさんの意味があります。ちょうどよいバランスという意味もありますが、いろいろな考えを取り入れていくという多様性の意味もあります。また、一人ひとりの個性を尊重しつつも、集団生活を送るうえでは、お互いを理解し、協力して取り組んでいくことが大事だという意味もあります。

皆さんはこれからたくさんの人と出会い、多くのことを学んでいきます。この時に、この3つの言葉は、常に大切にしていけるべき基本になります。

『誠実』な心、『自律』した行動、そして『調和』の取れた社会性。これからも本校の学習活動の根幹として大切にしていきます。

コロナ禍を含めたこれまでの6年間を振り返り、あらためて本校の教育活動にご理解とご協力を賜りました多くの皆様に心より感謝を申し上げます。そして今後とも『共に学ぶ浅川中学校』へのご支援をよろしくお願いいたします。



入学式の様子

